

令和元年度 オープンキャンパス体験授業一覧

時間	分野等	授業名	授業内容
午前	学校教育実践分野	教師ってなあに？ 授業ってなあに？ 学校ってなあに？	あなたはどんな教師になりたいですか？ 教師には様々な仕事や役割があります。教師とは何か、授業とは何か、学校とは何か、共に学びに学びましょう！
	発達教育実践分野	心をくすぐる言葉かけ	学校現場において、子どもを認める、ほめるということは、学校種を問わず求められることです。北海道教育大学釧路校では、「教育相談の理論と方法」という授業の中で、カウンセリングの一つの考え方であるブリーフセラピーについて扱い、話の聞き方、質問の仕方、相手の持っている良さの伝え方について学びます。体験授業では、心をくすぐる言葉かけのヒントとして、ブリーフセラピーの中でも重要な概念である、「リソース」と「コンプリメント」という考え方を紹介します。これらは、相手を認める、ほめることに大きく関わるものです。相手の心も自分の心もくすぐられるような言葉がけのヒントを一緒に学んで見ませんか？
	地域環境教育実践分野	地域をともにつくる学校の先生になる―「浦幌民泊体験実習」感想交流会	地域の未来を担う子どもたちを育てる学校と地域の連携・協働の取り組みに関心が集まっています。そのような活動を担うことができる先生になるために、私たちはどのような教育研究活動が必要なのか。こうしたことを地域に出ることで考えようと取り組んだ「浦幌民泊体験実習」の感想交流会を行います。
	美術教育実践分野	「感性教育」における「不都合な真実」？	30年前、学習指導要領に採用された「新学力観」の中で、感性教育の重要性が語られるようになって久しく経ちます。しかしながら、今日の教育界において、感性本来の働きやその教育意義はまだ十分に理解されていない現状もあります。本体験講座では、専門科目「初等図画工作」の模擬授業体験を通し、私たちの感性が持つ教育的な可能性について考えるきっかけを提供します。もしかすると、明日から、感性を活用することで勉強がはかどるかもしれませんよ。
	音楽教育実践分野	『鑑賞音楽裏話』	音楽の授業で行われる活動に「鑑賞」があります。よく鑑賞の授業で取り上げられる楽曲を取り上げて学問的に深く追求してみましょう。
午後	発達教育実践分野	子ども・若者を理解するための視点とは	「子ども・若者」はこれからの社会を担う重要な存在です。そんな彼らを私たちはどのように理解したらよいのでしょうか。「子ども・若者」理解は教師になる上で重要なことは勿論、若者である皆さんの自己理解にもつながります。この授業ではこの問題に対して、個人(心理学)と社会(社会学)の2つの側面から考えていきたいと思えます。
	社会科教育実践分野	自然災害と防災(減災)を読む	今、学校における防災教育や防災体制の充実、人材の育成が求められています。そこで、北海道教育大学では、防災の視点を持つ教員の養成を目的に、双方向遠隔授業システムを用いて「子ども・地域と防災教育」という講義を釧路校と札幌校で開講しています。本授業はその中から“自然災害・防災(減災)を読む”を取り上げ、地形図からいかに自然災害および防災を読み取るかを東日本大震災(岩手県大槌町)を事例に紹介します。
	保健体育科教育実践分野	ニューススポーツ	ニューススポーツを体験し、その教育的意義と可能性について学びます。
	地域環境教育実践分野	故郷で教師になりたい人に向けての大切な話	幼い頃の学校での経験や、良き恩師との出会いをきっかけに教師を目指し、教育の力で故郷をより良くしたいと考えている人に向けた授業です。そういった思いを抱く人は、大学で何を学び、何を理解し、何がどのようにならなければならないのかを、実例を挙げながら具体的に学習します。
	理科教育実践分野	「理科離れ」を考える	体験授業では「初等理科教育法」及び「中等理科教育法」の講義内容から「理科離れ」について参加者と一緒に考えます。

※午前 11:30~12:15, 午後 13:15~14:00